



アロマひとすじで生きてきた、 私なりの地域おこし

赤石 朝美

(羽後町地域おこし協力隊)

1 羽後町の地域おこし協力隊になった理由

ある時、羽後町の地域おこし協力隊にならないかと親戚から突然声が掛かりました。

当時、私は派遣社員としてヨーロッパで最も伝統あるアロマブランドの東京都内にあるショップで勤務しておりました。派遣の身でありながら、社員の方たちよりも多くの新規顧客やリピート客を持ち、売上も増やし、本社からは私の出す条件を呑むので社員になって欲しいと、願ってもないお話を頂いて悩んでいたところでした。

派遣という働き方を選んだ理由は、休みの日に自由が丘で自分のサロンを副業として開いていたからなのですが、そちらでも田園調布限界のお客様たちが多く、仕事面では一見恵まれた状況の中での協力隊のお誘いでした。毎日非常に大きなやりがいを感じながらも、一方で休みもなく収入も低く、毎日とても苦しい生活を送っているのが現実でした。

私は、都会には都会の良さ、地方には地方の良さがそれぞれあると思っていますが、身を粉にして時間に追われながら働いている中で、ふと気付くと両親の故郷である羽後町の空、緑、風などといった風景を恋焦がれるように思い浮かべておりました。そしてかねてより、アロマで羽後町に何か貢献出来たら、例えば西馬音内盆踊りをイメージした香りを作ったら面白いのではないだろうかと考えておりましたので、悩みに悩んだ結果、行動するなら今かもしれないと思うようになったのです。

2 これまでの活動

都内でアロマを販売していた私が、熊が出ると言われるような山に入り、素材(植物)から採ってきて蒸留しアロマ(精油)を作るのはやはり簡単なことではありませんでした。

初年度の協力隊活動はアロマ事業ではない担当となったため、高価な蒸留器の購入は困難で、はじめはホームセンターで販売されている普通の鍋を蒸留器に加工出来ないかとインターネットで作り方を検索して蒸留してみたり、仕事終わりや休日にアロマ活動が出来るように種まきやリサーチを進めたりしていましたが、アロマ活動自体の先行きが見えず、あがくような1年目でした。



(長者森でのクロモジ採取)

2年目になり、やっとやりたかったアロマでの地域おこし活動が出来るようになりました。小学校での子供たち向けのアロマ教室や、地元歯科医院や企業のスタッフさん向けのワークショップ、ご縁があつて嫁ぐことになったお寺でのアロマワークショップや写経、坐禅とアロマ

のコラボ、お寺繋がりでお寺での香り演出や月替わりの香りをオリジナルでブレンドして空間を演出するお仕事をしたりと、活動の幅は一気に広がっていきました。

その他にも個人ワークショップや、最近では県外にも多くのファンを持つ、羽後町にある多肉植物販売店のゴトウ園芸さんとイベントをコラボレーションさせていただくことでファンも知名度も多方面へ広がりました。



(柴田歯科医院さんでのワークショップ)



(ゴトウ園芸さんでのイベント出展)

当初は「こんな田舎でアロマなんか…」という方もいましたが、活動を進めていくとアロマが好きでネットショップで購入している方や、興味をお持ちでも触れられる機会が無かったという方がたくさんいらっしゃることに気がきました。そして、ワークショップを続けていくうちに、初めてアロマに触れる方でも、魅力にはまりリピーターになっていくことが増えていくのを目の当たりにし、都内でなくとも可能性は大いにあるということを確認しています。

今この文章を読んでいらっしゃる方でも、アロマについてよくご存じではない方も少なくないかもしれませんが、アロマというのは海外ではお薬と同等のものとして扱われるものだったりします。自分も昔、アロマを勉強するまでは単純に「良い香りを嗅ぐことによって癒されるもの」だと思っておりました。

しかしながら以前6年間務めた、いわゆるブラック企業と呼ばれるような職場で受けた過度のストレスによる心身の病により、病院を転々としても治らなかった症状が、アロマの教室に通い自分自身を実験台にして試していくうちにどんどん快方に向かっていったことから、植物が持つ薬効効果というものを知り、奥が深い世界なのだと実感するようになりました。

当時は鬱や不眠、皮膚病に脱毛と、その不快感や自分の見た目に気が滅入り、毎日生きているのがつらい日々でしたが、アロマに出会ったことで明るい希望の光が見えた気がしました。そこから17年、自分と同じようにならないように、また既にストレスで苦しんでいる方に少しでもお役に立てるようにとアロマに携わってまいりました。

社会復帰し、都内で働きながら聞こえてくる、秋田県の人口減少、自殺率の高さ、そして秋田県を出たものの、地元が好きで働くところさえあれば戻って住みたいという元秋田県民の声に、居ても立っても居られないような気持ちになっていき、その思いひとつでここへ来てしまい今に至っています。

3 これから…

「自分の経験を生かしてルーツである羽後町に貢献出来るかもしれない」、「狂おしいほど愛してやまない西馬音内盆踊りや、胸が苦しくなるほど美しい自然など、これほど素敵な魅力に

溢れた羽後町が廃れていくなんてもったいなさすぎる！」という、この熱い気持ちは変わらず、今後も地道に自分の出来ることを精一杯やっていくつもりです。

私は今後、次のようなことをやっていきたいと考えています。

① 子供たちにもアロマに触れる機会を増やす

「香育」とも呼ばれていますが、子供のうちに人工香料ではない、自然の本物の香りを知ることにより、五感が磨かれ集中力がアップしたり、大人になってストレスを受けた際にアロマの効果がより大きく作用すると言われています。

また、アロマを生かせる場所はとて多く、病院や介護施設、コンサートや展覧会などの演出で芸術との相性が良かったり、妊婦さんの快適なお産に役立てたり…。

また、自分が輝いて働く背中を見せてあげられたら、将来地元で働きたいと子供たちが考えた際の、魅力的な仕事の選択肢のひとつに考えてもらえるかもしれません。



(小学校での母の日アロマワークショップ)

② 地元の方の心身の健康や経済に貢献する

自身の経験から、「体調が悪くなったら薬や病院を頼る」という考えではなく「日頃の予防が大切である」ということに気付いていただきたいと心から願っております。

もちろん必要な時には病院で適切な治療を受けなければなりません、西洋の漢方とも言われるようなアロマの力を簡単に生活に取り入れ

る方法をお伝えして、健康に対する意識を上げるお手伝いが出来ればと考えています。また、材料となる植物を採ってきてもらい私が買い取ることによってちょっとしたアルバイトや生活の張り合いにさせていただき、自分も植物採取の負担が軽減されればとてもありがたいです。

③ 羽後町の香りを特産品として外へ発信していく

「香り」は記憶に定着しやすいという特長があり、それを生かし羽後町のクロモジや杉という単体の香りだけではなく、例えば西馬音内盆踊りのイメージの、妖艶で美しい香りをブレンドで作り、地元はもとより、県内外の方に発信して、香りとともに羽後町のイメージアップにつなげていきたいと思っています。販売はインターネット以外にも、都内で作った人脈も活用しながら展開していき、いずれはふるさと納税の返礼品にも加えていただけたらと考えております。

④ 蒸留体験ツアーの実施

地元の植物の蒸留体験ツアーを実施しながら、地元の宿や温浴施設、道の駅とも連携して羽後町を知っていただき、それが移住のきっかけにもなれたらと考えております。



(クロモジの蒸留)

⑤ お寺とアロマのコラボレーション

現在も少しずつ始めておりますが、アロマワークショップとその後に作ったものを住職に祈祷

してもらい、法話を聞きお茶会で交流する、という企画が人気です。「禅」の教えは宗教観というものよりも悩み多き現代を生きる私たちにとっても役に立つことが多いことに気がきました。

17年前受けたストレスで苦しんでいた時にたまたま出会った禅の教えで、アロマと共に私は変わりました。まさかご縁があつてお寺に嫁ぐことになることは考えもしませんでした。が…。

法話を、もっと肩の力を抜いて聞ける機会が増やせたらとも考えております。アロマをきっかけのひとつにして、お寺がもっと人々の交流の場や身近な存在になり、安らぎと活力を与えられる場所になれば理想的です。

その他にもやりたいことは沢山あります。

今はコロナの影響で活動出来る幅は限られておりますが、アロマの使い方や知識を多くの方に広めていく活動は地道にコツコツと続けて参りたいと思います。しかしながら体はひとつしか無いので、植物の採取に裁断、蒸留、ワークショップやイベントなど全てをひとりでやるのが大変になっております。いつか志を同じくする仲間と、もっと精力的に活動の幅を拡大していけたら良いですね。



(イベントで自作のクロモジスプレーを出展)

最後になりますが、私たちは自然と共に生きています。

環境汚染や森林の破壊などによって引き起こされる悪影響が注目されておりますが、アロマを通じて自然環境を守る上で小さなことでも自分たちが出来ることを考えるきっかけにしていけたらと思います。そして、化学的なものに頼らず、自然由来のもので対処することは環境のためだけではなく、自分や未来の子供たちのために繋がっていくことなど、子供から大人まで広く伝えていくことも大きな使命だと考えております。

地元では「山は昔のような価値が無く負の遺産」と思われているので、木や雑木を間引きして人の手が入った山が新陳代謝してCO₂の削減に繋がり、間引きした植物でアロマになり新たな価値を生み出せる宝の山であることを知っていただきたいなと強く思います。



(田代地区の森林とクロモジの木)

なかなか簡単では無いこと、出来ることには限りがあることは承知の上ですが、自分が出来ることを一所懸命、真摯に向き合っていくことで良い方向へ進んでいけると信じています。

羽後町での地域おこし協力隊の活動は間もなく卒業となりますが、これからも大好きな羽後町の地域おこしに少しでも役に立てるよう、頑張っていきたいと思います。